

オブジェクト別搭載プロパティ申告書

本申告書は「【C22】プロパティ値の範囲処理仕様」および「【C23】機器オブジェクトクラス別処理仕様」、
「【C24】プロファイルオブジェクトスーパークラス処理仕様」、「【C24】ノードプロファイルクラス処理仕様」のエビデンスである。
ユーザ定義オブジェクトについては、少なくとも機器スーパークラスから継承しているプロパティについて、搭載プロパティ申告書への記載は必須である。
また、SetI, SetC, Get, INF_REQ欄については、受信して処理する機能がある場合に○を付ける。INFC, INF, 状態時アナウンス欄については、送信する機能がある場合に○を付ける。
ここで、INF欄は、
・状態時アナウンスに○がある場合は、(条件によっては送信しない場合でも)必ず○を付ける。
・自発的にINFを送信する場合にも○を付ける。
・INF_REQへの応答INFしか送信しない場合は○を付けない。

注)「EPCコード」欄記載の数字はHEX。0x##の##部分のみの記載で可。

クラス名 **防犯センサ** オブジェクトコード **0x000201**

プロパティ名称	EPCコード	搭載値域	サイズ(Byte)	アクセスルール	サービス搭載状況 (搭載分に○記載)						状態時アナウンス	備考	
					SetI	SetC	Get	INF_REQ	INFC	INF			
動作状態	80			Get			○	○			○	○	本プロパティは起動後に変化がない
設置場所	81			Set/Get	○	○	○	○			○	○	
規格Version情報	82			Get			○	○					
識別番号	83			Get			○	○					
メーカー異常コード	86			Get			○	○					
異常発生状態	88			Get			○	○			○	○	
異常内容	89			Get			○	○					
メーカーコード	8A			Get			○	○					
事業場コード	8B			Get			○	○					
商品コード	8C			Get			○	○					
製造番号	8D			Get			○	○					
製造年月日	8E			Get			○	○					
遠隔操作設定	93			Set/Get	○	○	○	○					
現在時刻設定	97			Get			○	○					
現在年月日設定	98			Get			○	○					
状態アナウンスプロパティマップ	9D			Get			○	○					
Setプロパティマップ	9E			Get			○	○					
Getプロパティマップ	9F			Get			○	○					
検知閾値レベル設定	B0			Set/Get	○	○	○	○			○	○	
侵入発生状態	B1			Get			○	○			○	○	

ユーザ定義領域使用状況

0xF0	0xF1	0xF2	0xF3	0xF4	0xF5	0xF6	0xF7	0xF8	0xF9	0xFA	0xFB	0xFC	0xFD	0xFE	0xFF

(該当する口に○を記入してください)